

ツキノワグマ生息等モニタリング調査業務委託に係る質問に対する回答

質問	回答
入札仕様書（１）②個体識別について、使用する８座の遺伝子は何か。	令和２年度調査で使用したG1A、G10B、G10X(Peatkau et al.1995)、MSUT2、MSUT6(Kitahara et al.2000)、UarMU05、UarMU23(Taberelet et al.1997)の７座に加えて性決定遺伝子１座の計８座の遺伝子を使用するものとする。
仕様書（１）④個体数推計について、個体識別の結果、十分な数の個体が検出されず、空間明示型標識再捕獲モデルによる生息密度の推定が困難な場合の対応。	県と受託者で協議のうえ、代替手法を検討・実施する。